



### 学習文化発表会に思う

校長 平田 和利

秋は気候的に涼しくなり、「芸術の秋」と言われるだけあって、各地で芸術にまつわるイベントが多く開催されています。本校でも 10 月 29 日、学習文化発表会を開催することができました。

コロナ禍の中、学習文化発表会へ向けての練習など一定の制約のもとでの実施となりましたが、生徒と先生方で知恵を出し合いながら、大成功の学習文化発表会でした。

本格始動は 10 月になってからで、途中、生徒会役員選挙等をはさんで大変な中、綿密な練習計画で各学級・学年・文化系部活動など、舞台や展示の発表に向けて、練習や作品づくりに一生懸命取り組んでいる姿を見ながら「さすが、伊敷台中生」と思うと共に、「一生懸命はかっこいい」と痛感することでした。

さて、「With Friends Toward The future～魅せろ青春 友と未来へ～」をテーマに、生徒と先生方の心が一つになって、いい笑顔が見られ、すばらしい学習文化発表会になりました。

そして、伊敷台中の学習文化発表会が他の中学校に負けない「よさ」とは何だろう、どんな「よさ」を見せてくれるのだろうか、と思いながら舞台発表や展示の部を見ていましたが、二つのことを感じ



ました。

一つ目が、生徒が常に質の高いことを求めながら先生方と共に労を惜しまず、その期待に応えられる「能力の高さ」を持っていることだと思います。この様々な「能力の高さ」は何だろうと考えると、それは、きっと台中生の持っている「素直さ」が大きな要因ではないかと思いました。

二つ目が、舞台と鑑賞する生徒の心が一つになった調和的な姿だと感じました。各行事を行ったときに発揮する生徒の力、本番に強い爆発力はおそらく伝統的な力であり、伊敷台中のよさだろうと思いました。

なお、運営、企画を中心になって取り組んでくれた生徒会役員などの実行委員会、そして生徒全員によるこんなすばらしい学習文化発表会を実現できたことに感謝、そして、コロナ禍においても、奮闘した生徒の皆さんを心から誇りに思います。

コロナ禍の中、安全対策の面から制約など設けましたが、多くの保護者の皆様に本校へお越しいただき、たくさんの拍手と声援をいただき、心から感謝申し上げます。

今後も本校の教育活動へのご理解とご協力を何卒よろしくお願いいたします。

### 芸術鑑賞～オーケストラ公演～

10 月 20 日（水）、本校体育館において芸術鑑賞会本公演ということで、九州交響楽団による巡回公演をしていただきました。

九州交響楽団は、長き伝統と歴史を誇る九州唯一のプロのオーケストラとして、九州の楽壇をリードする存在でありたい。その思いを実現するため、2013 年に九響の活動理念・活動方針を、「九響ビジョン」として、制定して活動をしています。

当日は朝の 7 時前から団員約 80 人が準備等をして本番を迎えました。生徒は、体育館に響き渡る迫力あるオーケストラ演奏に真剣に聞き入って様々な思いをもったことでしょう。

生のオーケストラの曲は、ものすごく迫力があ

って、指揮者、演奏者の表現力がピンピン伝わり、音の響きが体にしみこんできて感動しました。また、今までにきいたことのない楽器の音の美しさに、とても驚いたりしながら、音の世界に入れたような気がします。日々の私達の生活の中で、このようなオーケストラ公演に触れる機会は少ないので、とても貴重な体験になりました。

やはりオーケストラを聴く醍醐味は、生演奏に限るとつくづく思いました。その色彩とリズムにあふれたダイナミック・サウンドは、華麗で優美、研ぎ澄まされたシャープな演奏は、心に響いていつまでも余韻が残りました。舞台狭しと80人近い団員で構成されるオーケストラは壮観で、そのサウンドとなれば素晴らしいの一言に尽きます。

全校生徒を楽しませていただき、夢中で楽しい時間になりました。これからも素晴らしいオーケストラ公演でたくさんの人に感動と幸せを届けていただければと思います。

#### 【生徒の感想から】

こんな目の前で聞いたことがなく、すごく感動しました。どの曲も音色がきれいで、いろんな楽器の音が楽しめました。曲を聴いて情景が浮かび、お話場面に合わせた音色でその話に入ったみたいでした。全部ものすごく印象に残っているけれど、特に伊敷台中学校校歌は、私たちのためだけのものであり、いつも歌っているよりも響きがあつてよかったです。また、最後の「ヨハン・シュトラウスⅠ世/ラデツキー行進曲」は、手拍子もあつて自分自身も気分が上がりました。今日は幸せな特別な時間になりました。また、聞ける機会があったらいいなと思います。本当に有難うございました。



## ◎ 生徒会任命式

9月30日(木)の生徒会役員選挙により、第29代生徒会長及び副会長が決定しました。生徒会長に松田琉希君、副会長に三嶋凜太郎君と肱元悠真君です。その他の役員につきましては、3人の役員からの委嘱を原則としながら、職員との話し合いも踏まえて本部役員や専門部の役員が選出され、決定しました。総勢20名の新執行部は、11月2日の任命式で紹介され、2年生を中心とする生徒会の新体制が正式にスタートします。是非、新役員理想とする記憶に残る生徒会活動ができますよう、職員も一緒になって支えていきたいと思えます。



## かごしまの教育県民週間実施！

毎年、11月1日から11月7日までを、保護者、地域の方々に「かごしまの教育」について考える気運を高めていただくことをねらいとし、地域が育む「かごしまの教育」県民週間を実施しました。

今回も新型コロナウイルス感染拡大防止から保護者のみの参観といたしました。学校での生徒の生活や授業の様子などを多くの皆さんに見ていただき有難うございました。今後とも本校の教育活動へのご支援、ご協力をよろしくお願い致します。



## 新任職員紹介

10月22日付けで大戸美穂講師が着任いたしました。1年の1組から4組の国語及び1年3・4組の副担任を担当しますのでどうぞよろしくお願い致します。